

商品説明 TOBIRA

ECOMOC FENCE TOBIRA

エコモックフェンス トビラ

リニューアル 2024年5月発売

面材:横貼りのみ対応

半ユニット品の簡易扉

シンプルデザインをコンセプトに開発した扉部材です。各種エコモックフェンスに合わせた簡易扉をお作りいただけます。

NEW

扉高さH1201以上の場合、扉裏側に「筋交い」を入れる事で、高さH2000まで対応可能になりました

01 ORIGINAL・MOKUME・LIMITED すべての板に対応

板	ORIGINAL	MOKUME	LIMITED
Color	(BR) (SB) (GG) (SGR)	(MO) (BE) (GG)	(WH) (BG) (LK) (AY)
柱 扉フレーム	(B) (S) (W)		

02 選べるハンドルセット

2種類の取手からお好きな方をお選びいただけます。 ※部材一覧は P42

取手セット ※1・2

シンプルな取手と、簡易な打掛錠のセットです。
打掛錠は、取付け方向からのみ施錠・開錠が可能です。

※ 反対面では操作できません。

※1：色はブラック色・ステンカラー色からお選び下さい。ホワイト色はありませんのでご注意ください。
※2：ハンドルが取手の場合、勝手口としての簡易戸であり、施錠は簡易な打掛錠のみとなりますのでご注意ください。

レバーハンドル錠セット ※1

サムターン方式の鍵付きのハンドルセットです。
おもて側のシリンダー錠と、うら側のツマミの操作で鍵の開閉が可能です。

03 現場カスタムメイドの半ユニット扉フレーム

NEW

現場でフレームの縦枠をカットする事で、扉の高さを調節可能な扉です。従来品から更に改良を重ね、扉高さがH=2000mmまで対応可能となりました。
また、「左吊元・右吊元／内開き・外開き」全てのパターンを1種のフレームで施工できる様になり、現場での急な仕様変更にも対応可能となっています。

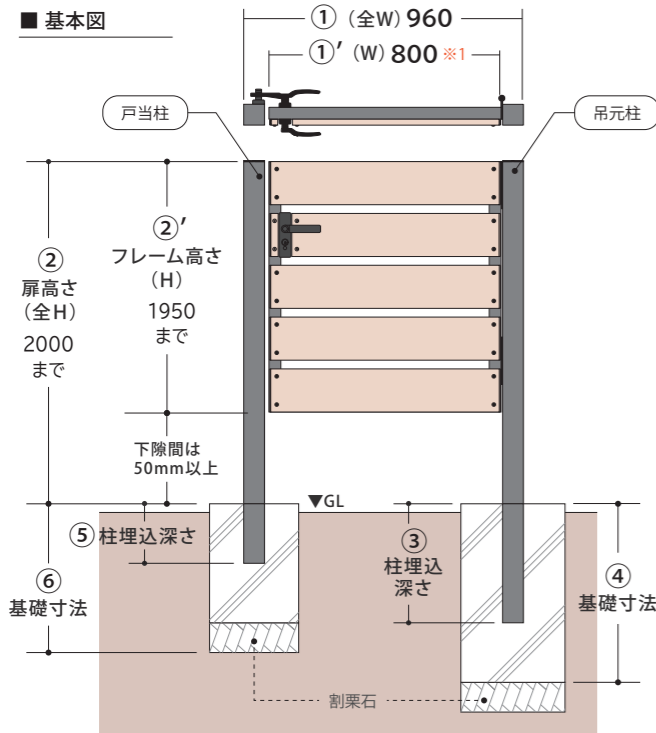
NEW POINT /

- 扉全高さが最大 H2000 に
- H1201mm 以上は筋交い設置
- 戸当柱は吊元柱と同様 70 角になりました。(詳細掲載: P62~64)

TOBIRA 商品仕様	
扉 フレーム サイズ	規格品 W800(固定) × H1950まで調節可能 ※4 特注品 任意~W800まで × H1950まで ※5
開閉仕様	片開きのみ(両開き不可) ・右吊元 内開き/外開き ・左吊元 内開き/外開き
フェンス との連結	無し(完全独立型のみ)
筋交いの 有無	・H1200以下 … 無し ・H1201以上 … 必須

※3：扉フレームの上下枠と縦枠は塗装方法が異なる為、色差があります
※4：扉のワイド寸法は W=800 が規格寸法となります。
※5：規格外の寸法をご希望の場合、受注生産にて製作可能です。
都度お問い合わせください。(納期：4週間必要です)

施工例：P21~23



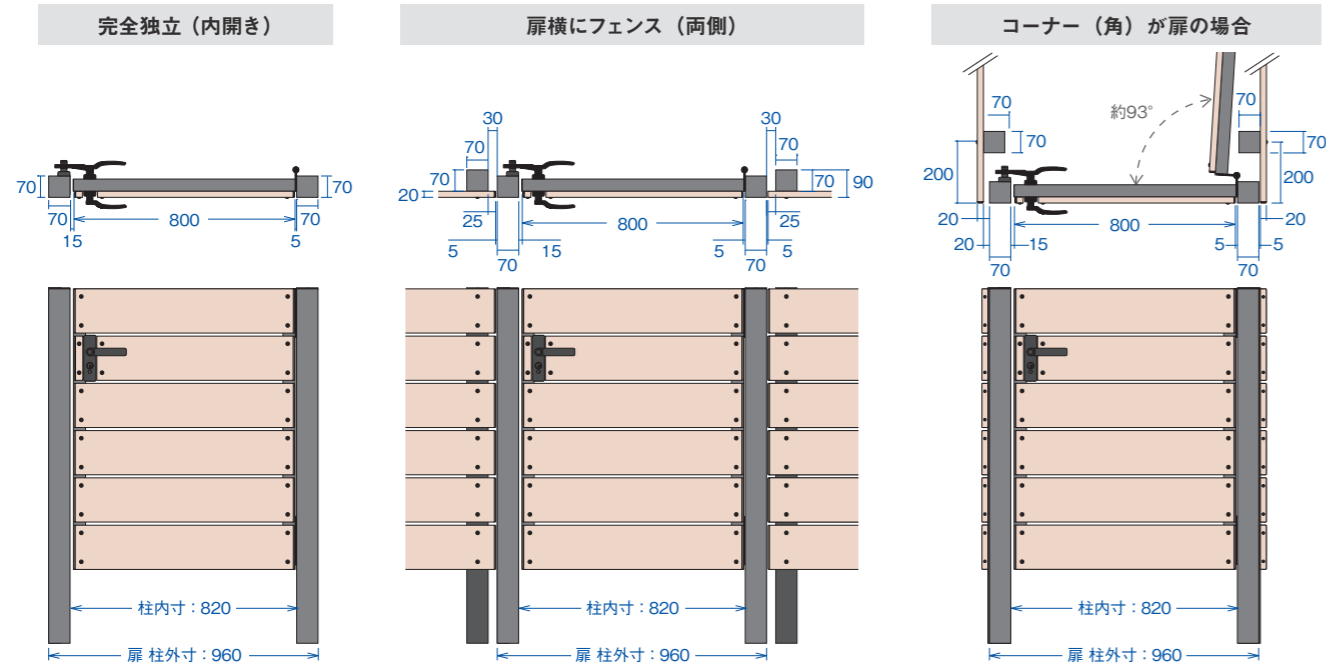
■仕様

組立方法/貼り方	半ユニット組立品 / よこ貼り		
主要部品 材質	板: 再生木板 / 柱: アルミ		
動作	片内開き・片外開き (両開き不可)		
① ①' 横幅	①: 960	①': 800 ※1	
② ②' 扉高さ	②: 2000 まで	②': 1950 まで	
扉高さ	~H=1200	H=1201~1500	H=1501~2000
③ 柱埋込深さ(吊元柱)	400mm以上	450mm以上	500mm以上
④ 基礎寸法(吊元柱)	巾350×厚350 根入600	巾450×厚450 根入700	巾500×厚500 根入700
⑤ 柱埋込深さ(戸当り柱)	300mm以上		
⑥ 基礎寸法(戸当り柱)	巾300×厚300 根入400	巾450×厚450 根入450	
⑦ 筋交いセットの有無	不要	必須	

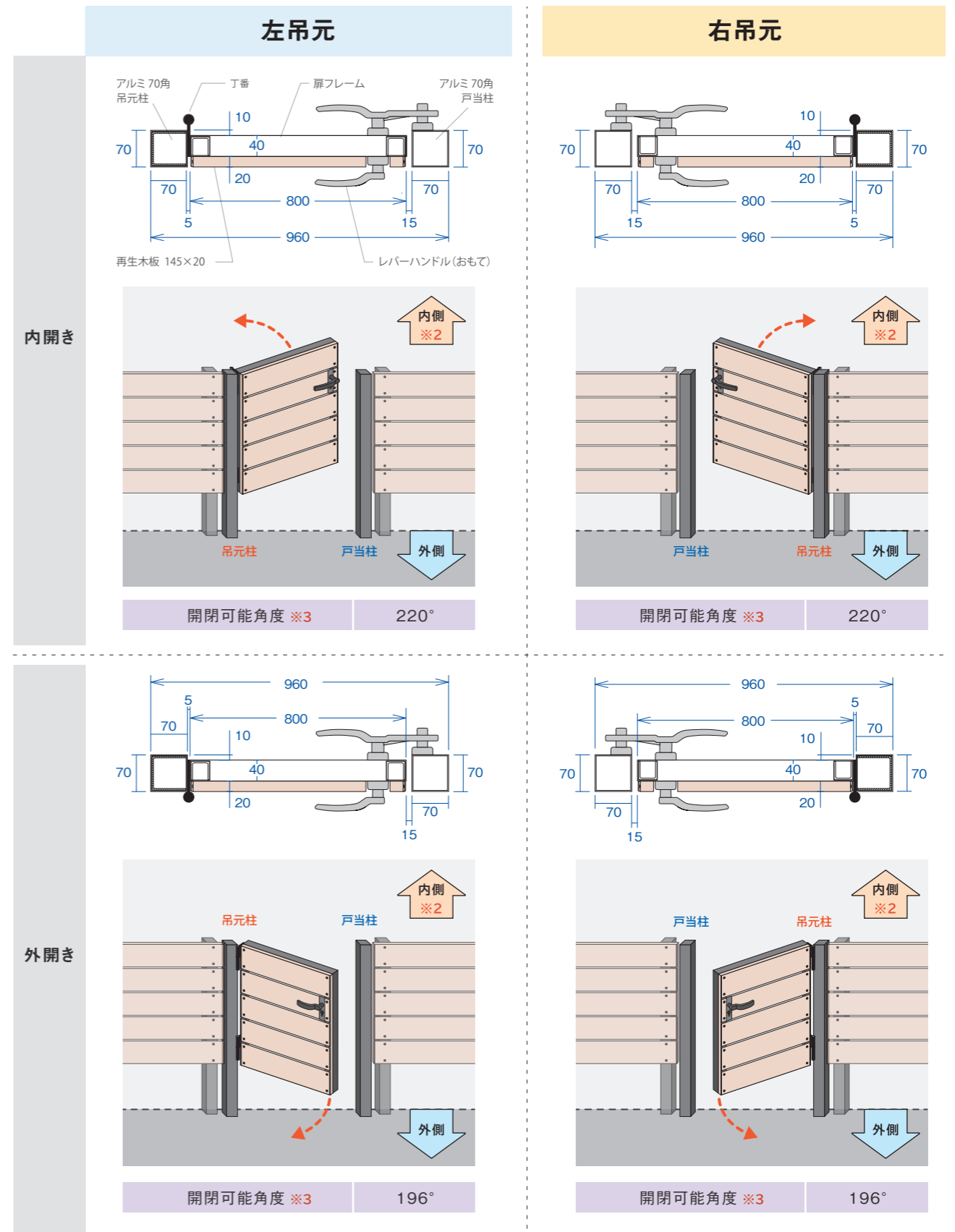
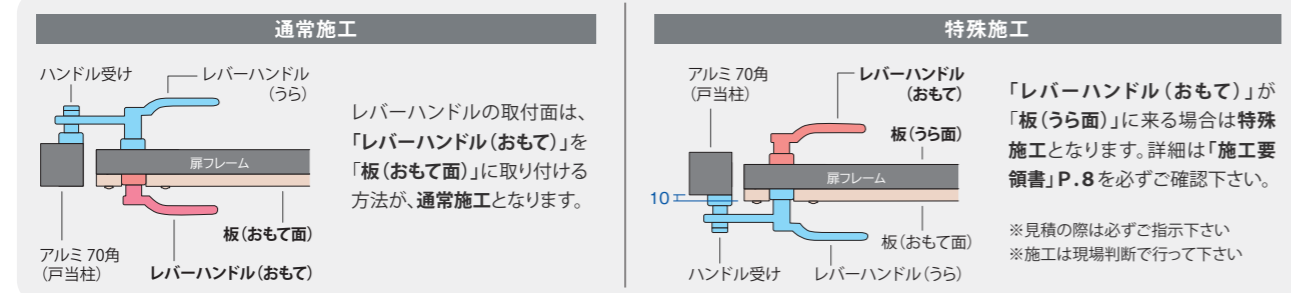
※1: 扉の横幅(W)はW=800のみとなります
W=800以下のサイズは受注生産品(都度見積)となります(納期: 4週間程)

■パターン別 納め図例 (右吊元/内開き(押戸)/レバーハンドルの場合)

(平面図・立面図)



■レバーハンドルの推奨取付面について



※2: 家の内側に板を貼る場合、上記イラストの「内側・外側」の表記を無視し、実際の見え方と合致する納めを選び施工して下さい。
※3: 扉の開閉可能角度は、周りに障害物がない場合のおおまかな目安角度です。吊元の丁番位置をずらした場合は角度が変わる場合があります。

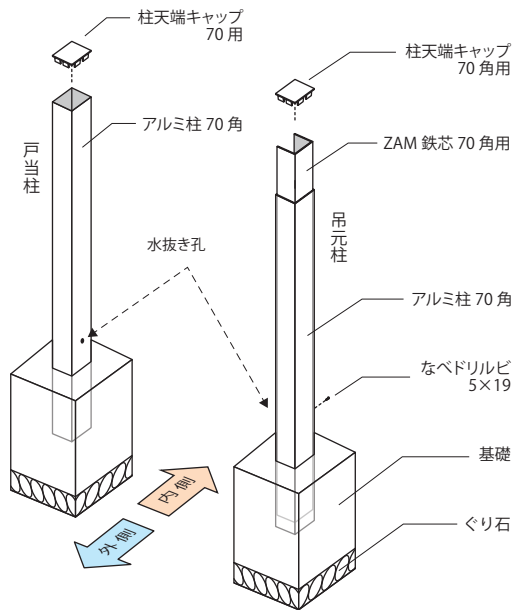
扉納まり 変更のお知らせ

- 今回、「扉半ユニットセット」のリニューアルにより、全ての扉仕様(左吊元・右吊元/内開き・外開き)を「PSET15△」で対応可能となりました。
- 戸当り柱が「60×40」から、「70角」に変更になりました。
- 扉高さ(全H)が1201mm以上の場合、筋交いセットが必要です。

1 吊元柱・戸当り柱を埋設する

※吊元柱・戸当り柱の埋設位置は、施工要領書の「納め一覧表」を参照し施工して下さい。

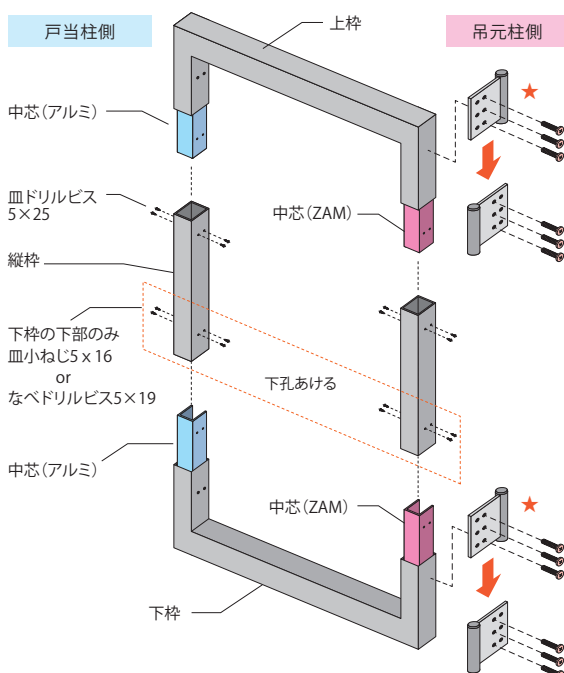
- 吊元柱には、ZAM鉄芯（70角用）を入れて下さい。



2 扉枠を組立する

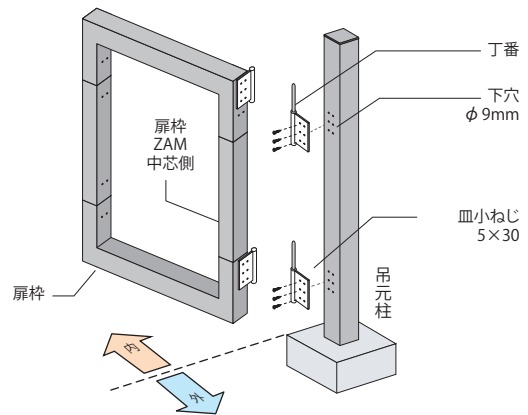
★扉のパターンが「左吊元・外開き」・「右吊元／内開き」の場合は、「上枠」・「下枠」に予め取付けられている「丁番」を一旦取り外し、向きを変更して再度扉枠に取付ける。

- 扉半ユニットセットの「縦枠」を扉高さに合わせてカットする。
- 治具を使って、縦枠下部の所定位置に下孔をあける。（もしくは皿穴加工をする）
- 扉半ユニットセットの「上枠」に「縦枠」を挿し込み、皿小ねじ5×16で留付して連結する。
- 先程連結した枠に「下枠」を挿し込んで連結し、「縦枠」にあけた下孔位置を、なべドリルビス5×19で留付する。（皿穴加工をした場合は皿小ねじ5×16で留付する。）
- ※扉高さ（全H）が1201mm以上の場合、扉背面に「筋交いセット」を取付ける。



3 吊元柱に丁番（下部）を付け、扉枠を吊り下げる

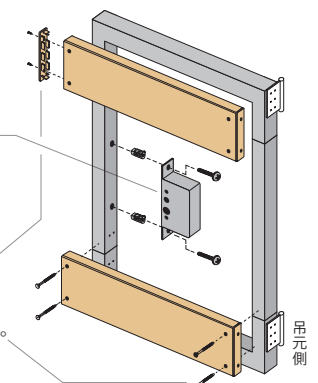
- 吊元柱に丁番用の治具を当て、丁番の穴位置に墨付けする。
- 吊元柱の墨付けした箇所に、下孔（φ9mm）をあける。
- ※丁番の取り付け位置は、扉の納めにより異なります。施工要領書をもとに施工下さい。
- 吊元柱の下孔にターンナットを仕込み、皿小ねじ5×30で丁番（下部）を留付する
- 扉枠を吊り下げる
- ※戸当り柱と扉枠の隙間（チリ）が空きすぎた場合、丁番スペーサーを使用してチリ寸法の調節をして下さい。



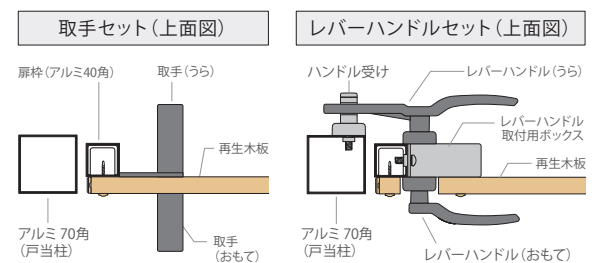
4 扉枠へ再生木板・周辺小物を取付ける

※レバーハンドル仕様の場合「取付用ボックス」を扉枠に取付ける。（板位置とハンドル位置を確認して取付けて下さい。）

- 再生木板をカットし、φ7mmの下穴をあける。
- 再生木板に、端部キャップをビス留する
- 再生木板をシンワッシャードリルビスで扉枠に留付する。



5 取手セット又は、レバーハンドルセットを取付ける



6 戸当りを付ける。

- 戸当りを付属のビスで取り付ける。取付場所は、内開きか外開きかで異なるので注意して下さい。

7 完成